

厚木市にポートルースチケットショップが？ 地元説明会開かる

《計画地の概要》

場所:厚木市中町3-4-22

第2曾田ビル2階

事業者:(有)オオバ・エステート

発売日数:年間366日以内

営業時間:午前10時~午後9時頃

場外舟券売場で地元が潤う？

場外舟券売場とは、全国に24カ所あるポートルース場の状況を放映し、勝舟投票券の発売と払い戻しを行う施設です。今回進出が計画されている

冒頭、事業者から「今回は第1回目の説明会で、事業の概要を住民の方々に知っていただくために開催した。賛成・反対の意見を伺うものではない」と挨拶があり、説明が始まりました。

事業者は、全国的にパチンコ店やゲーム店を経営している(株)マタハリのグループ会社で、(有)オオバ・エステート。計画地の一階でパチンコ店を営んでいます。二階の空き店舗での計画です。

3月12日(日)、厚木市に場外舟券売場(ポートルースチケットショップ)の進出を計画している事業者による住民説明会が開催されました。

講演「夢に向かって」 スポーツ人のつどい



3月11日(土)東町スポーツセンターで、第44回厚木市スポーツ人のつどいが開催されました。長年にわたりスポーツ振興に貢献、各種スポーツ大会で活躍した35人と3団体を表彰。全国大会出場者・団体の紹介もありました。

つどいの一部は講演会です。講師は寺川綾さん。寺川さんは2012年ロンドンオリンピックの1000m背泳ぎで銅メダル、400mメドレーの第1泳者として銅メダル獲得

に貢献。現在は水泳指導者として後進の指導に当たっています。講演のテーマは「夢に向かって」。

オリンピックに出たい

3歳で水泳を始めたのは喘息を治すため。練習大好き、水泳大好き、友達大好きで、負けず嫌いな女の子。バルセロナオリンピックで平泳ぎの岩崎京子さんが14歳で金メダルを取り、「今まで生きていた中で一番幸せ」と言ったのを聞き、私もオリンピックに出たいと思った。

「私は失敗したことは一度もない」

テレビのトークショーのテーマで「失敗から学ぶこと」があったが、08年の北京オリンピックにでられなかった時も失敗したとは思わなかった。負けは失敗ではない。出られないのは悔しいが、なぜそうなったのか、次にそうならないためにはどうしたらいいのかと頑張った。次の成功につながるための「失敗」だ。



ロンドンオリンピックの銅メダルを会場に回して見せてくれました。どっしりと重量感のある、大きなメダルでした

マイドリームリスト
夢リストを書こう。夢は書かないと忘れてしまう。中1の時、先生に言われて30も書いた。机の中にしまいこんでいたが、ある時引っ張り出したら、いくつかできていた。そこにさらに付け足して「夢」を書いた。

水泳を引退して自分は何ができるかと悩んでいた時、小学2年生の男の子に「寺川さんの夢は何ですか」と言われて改めて考えさせられた。

夢に向かってとにかくやってみよう、できなくても収穫はある。新しい自分が見つかる。

設置までの手続きは

る(仮)ポートルースチケットショップ本厚木は、窓口数8窓程度の小規模のもので。一日に入場者約800人、売上800万円を見込んでいます。年間では29億円超となります。説明では、「地元自治体に対して、売り上げの1%を上限として環境整備協力費を支払い、厚木市の教育、福祉、生活環境等の事業に活用できる」「来場したお客様による消費活動で、市内経済への波及効果がある」「地元優先で雇用をします」など、メリットばかりが強調されました。

国土交通省ではチケットショップ設置には、地元調整、行政協定、警察協議の手続きが必要としています。地元調整は次の3つの条件です。

- ①設置予定場所の自治会の住民同意
- ②市長の同意
- ③議会が反対しない。

過去に2回、進出を阻止

厚木市では、過去に2回、場外舟券売場(ポートルース)の進出を阻止した経験があります。

1回目は、2004年旧長崎屋に

参加者から疑問・意見が次々

風紀・防犯の問題では特に青少年の健全育成への心配、交通渋滞や違法駐輪への懸念、はずれ舟券や吸殻等の清掃など、疑問や質問、意見が次々と出されました。

事業者は「地元自治体・施行者・施設会社、地元自治会をメンバーとする『環境委員会』を設置して、問題の発生を未然に防ぐ体制を整える」「警備員・清掃員を十分配置する」と説明しました。

そんな委員会をつくらなければいけないのが、問題のある証拠です。市民団体からは反対の動きも出ています。

つくり出したときで、議会に設置反対の陳情が3件出て全員一致で採択しました。

2回目は、2011年。08年に閉店したパルコ跡につくるのではないかとミニコミ紙の報道があり、釘丸議員が、一般質問で取り上げました。小林市長は「議会でも全員の同意で反対との決定をされているということは、基本的に重要な判断」と答弁しました。その後、事業者からは地元自治会にも厚木市にも話がなく、進出には至りませんでした。